



2010年10月22日

ユニーが食品メーカーと一緒に商品リサイクルループを構築

10/26 (火) 食品リサイクルループで作った惣菜パンの販売開始

この度、ユニー株式会社（本社：愛知県稲沢市、代表取締役社長：前村 哲路）は、有限会社ブライトピッグ千葉様（飼料製造業者、畜産事業者：本社：千葉県 代表取締役：志澤勝）に店舗から排出する食品残渣を原料にした飼料で豚を飼育していただき、その豚肉を使って、プリマハム株式会社様（本社：東京都品川区 代表取締役社長：松井鉄也）、山崎製パン株式会社様（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：飯島延浩）に惣菜パンを作っていただき、店舗で販売する食品リサイクルループを構築しました。

この構築したリサイクルループで作り上げた惣菜パンを、10月の「3R推進月間」、また愛知県名古屋市で開催中の「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」を記念して、ユニーの関東営業部の店舗で平成22年10月26日（火）より98円（税込）にて販売しますのでお知らせいたします。

この食品リサイクルループは、食品リサイクル法の再生利用事業計画として、農林水産省・経済産業省・環境省に10月末までに申請する予定で準備を進めています。

「再生利用事業計画」は、食品リサイクルを推進する上で、食品残渣を排出する食品関連事業者、再生利用事業者、農畜水産物の生産者の3者がリサイクルの環を構築し、食品再生資源を有効に活用する計画です。



<ユニーの取組み>

1. 再生利用事業計画(食品リサイクルループ)の概要

ユニーの下記店舗で排出した食品残渣を、ブライトピッグ千葉様が再生資源として引き取り、飼料を製造し、この飼料を豚の飼育に使用し、生産された豚肉でプリマハム様が肉加工製品(肉惣菜)を製造し、これを使って山崎製パン様が惣菜パンを製造、ユニーが販売するものです。

2. ①食品関連事業者

(食品残渣排出店舗)

アピタ市原店

⇒上記店舗の食品残渣排出量 25.2 t / 年

(惣菜パン販売店舗)

関東営業部のアピタ、ピアゴ 31店舗

⇒販売個数：1日1000個(月間3万個)

使用豚肉 250kg

②特定肥飼料等製造業者(再生利用事業者)

有限会社ブライトピッグ千葉

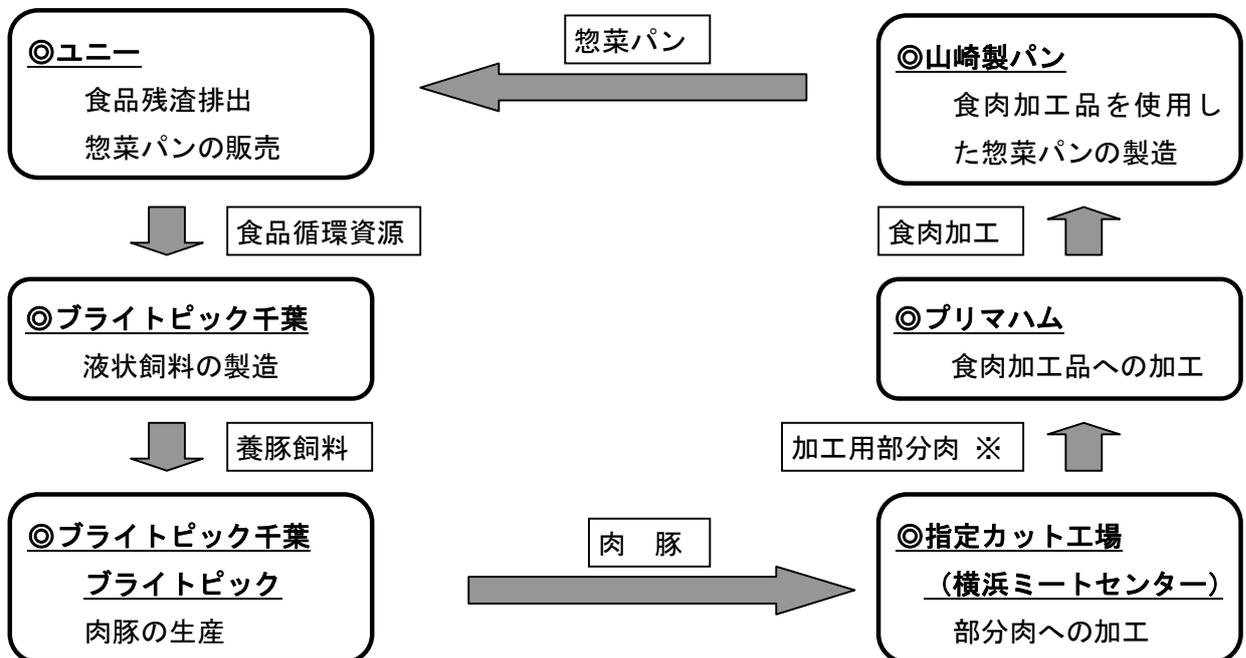
⇒ユニーが排出した食品残渣由来の飼料製造量 43.2 t / 年

③特定肥飼料等の利用者(農畜水産物生産者)

有限会社ブライトピッグ千葉・有限会社ブライトピッグ

⇒上記飼料を使用した豚の生産量 480頭 / 年

特定農畜水産物の加工プロセスフロー



※精肉用部分肉は他所へ仕向け

(参考資料)

既に認定されたユニー株式会社の再生利用事業計画

①認定年月日：平成19年1月26日

食品関連事業者：ユニー株式会社

特定肥飼料等製造業者：ヒラテ産業有限会社

特定肥飼料等の利用者：愛知県農業協同組合連合会

再生利用事業の内容：肥料化

②認定年月日：平成20年9月19日

食品関連事業者：ユニー株式会社

特定肥飼料等製造業者：株式会社ディーアイディー

特定肥飼料等の利用者：愛知県農業協同組合連合会

再生利用事業の内容：肥料化

→ユニー(株)の店舗で発生した食品残渣から製造した堆肥で栽培した農作物を販売